第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂案の概要

～感染症による意識・行動変容を踏まえた新たな地方創生の実現に向けた見直し～

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(R2～6)について、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、国の基本方針や、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会での意見等を踏まえ内容を修正し、時代の変化を捉えた新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性を示す。

感染症による様々な影響

- ・地域経済・生活への影響
 - ▶地域経済を支える産業への影響
 - ▶雇用情勢への影響
 - ▶観光等の交流人口の減少 等
- ・個人の意識・行動変容
 - ▶テレワーク・WEB会議の普及
 - ▶地方への移住の関心の高まり 等

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた基本的な方向性〔国〕

〔国のまち・ひと・しごと創生基本方針2021(令和3年6月)〕

感染症が拡大しない地域づくりを含め、新たに、3つの視点(ヒューマン、デジタル、グリーン)を重点に捉え、地方創生の取組のバージョンアップを図る。

①感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出(東京圏への一極集中の是正)

感染症を契機とした地方への移住に関する関心の高まり、テレワークを機とした人の流れの変化を地方へのひと・しごとの流れにつなげる。

②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

地域の将来を「我が事」としてとらえ、特色や状況を十分に把握し、隣接する地域との連携を図りつつ、各地域が自主的・主体的に取り組む。

3つの視点

- ヒューマン(地方へのひとの流れの創出、人材支援)
- デジタル(地方創生に資するDXの推進)
- グリーン(地方が牽引する脱炭素社会の実現)

令和3年度見直しの方向性〔市〕

①移住の促進、関係人口の創出・拡大

・地方創生テレワークの推進、子育て世帯の移住の促進に加え、少子化対策や女性活躍の推進の観点から、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備に向けた取組を進める。

②DXの推進による地域課題の解決、地域の魅力向上

・スマート農林水産業など、地域の実状に応じたデジタル技術を実装し、地域の活性化を図る。
・射水市DXビジョンの推進。

③脱炭素化の取組の推進

・地域資源を有効活用した再生可能エネルギーの導入を促進する。

見直し内容

これまで以上に情報通信技術の活用等DXを強力に推進するとともに、市の魅力を高め、新しい地方創生を実現する。

☆施策等の追加・見直し

＜基本目標1＞結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

・【新】特色ある幼児教育・保育の推進

※自然を生かした活動等、特色ある幼児教育・保育の取組について、有識者を交えて検討する。

＜基本目標2＞地域のしごとづくり

・【新観点】アグリテックバレー構想により、農業DXを推進し、地域農業×地域産業の産業クラスター形成を図る。

※サテライトオフィスを整備し、全国から農業技術系企業を集めて、地域産業の活性化、地域課題の解決を図る。

＜基本目標3＞市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

・【新観点】特色ある幼児教育・保育の推進等により、子育て世帯の移住・定住の促進を図る。

※あらゆる子育て世代の希望を叶える幼児教育等の在り方を検討する。

＜基本目標4＞安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

・【新】省エネルギーの推進

・【新】再生可能エネルギーの創出

・【拡充】循環型社会に向けた環境にやさしいライフスタイルの推進(市民、事業者との連携による3R行動の推進、プラスチック資源循環に向けた総合的取組、食品ロス削減の推進)

・【新】電子自治会アプリ等の導入支援

・【新】女性の再就職、キャリアアップ等への支援

※ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の促進、女性活躍の推進等を図る。

☆目標値の見直し

＜基本目標3＞

・「市公式LINEアカウント友だち数」
5,000人 ⇒ 25,000人

＜基本目標4＞

・「一人/日当たりのごみの排出量」
1,006g ⇒ 1,005g

・「リサイクル率」

34.5% ⇒ 22.1%